

上宮寺通信

第二十四号

みんなで踊ろう

全国的に患者数が増加して、さらなる流行の兆しを見せる新型コロナウイルス。世界に目を向けても勢いは衰えることを知りません。いまだ世の中はコロナ騒動で大変に状況になっています。

しかし、そんな中でも時間というのは確実に過ぎていきます。今年は何もやっていないよな気がするのに、令和二年は半分以上が過ぎ、今月はお盆を迎えることになりました(地域によっては七月にお盆を迎えますが)。

昨年のこの通信(第12号)では、『盂蘭盆経』という経典に説

かれる話が、お盆の由来となっていることを書かせていただきました。

お釈迦様の弟子である目連尊者が、地獄に落ちた母親を救うためにお釈迦様に相談したところ、夏の安居(旧七月十五日頃)の最後に仏や菩薩、たくさんのお僧侶に施しを行うようにと言われています。目連尊者はその通りに施しを行うと、その功德によって母親が救われたという話です。それが日本の先祖を思う風習と結びついてお盆として定着しました。

そして、母親が救われたのを見て、目連尊者は他の弟子たちとともに喜び踊ったとも言われています。実はこれが「盆踊り」の始まりとも。

『往生要集』という書物には、地獄のことを「孤独にして同伴なし」といわれる世界だと書かれています。関係性の中で生きていく私たちですが、地獄の世界ではつながりが一切断ち切られ、一人ぼっちで一緒に歩む人もいないということです。

目連尊者の母親も孤独の世界である地獄に落ちて苦しんでいたのです。その母親が地獄から救われた証として、目連尊者は自分ひとりで喜ぶのではなく、皆とともに踊り、孤独からの解放を喜んだのでしょうか。

さて、盆踊りといえば、夏休みに行われる身近な行事として子どもの頃は楽しみにしていました。地域の人々を結びつける大切な機会でもあったのです

が、今年はどういった行事が軒並み中止。いまは密を避け、結びつきを強くしてはいけない状況になっています。

人がふつうに関わり合えることがどんなに大事なことであったのか、そのことがあらためて思われます。新型コロナ騒動が終息し、ともに喜びあえる日が一日も早く来ますように。



◆行事案内

上宮寺の行事

お盆(孟蘭盆会) 法要

8月13日(木)・14日(金)

午前9時〜午後3時(両日とも)

場所：上宮寺本堂

※ご都合のつく時間にお参りください。

秋季彼岸会・永代経法要

9月8日(火) 午前10時〜

法要 引き続き 法話(一席)

法話 住職

※今年は午前のみ法要といたします。お斎(食事)、呈茶はごさいませんのぞいで承ください。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○お盆(孟蘭盆会) 法要をご案内のとおり行わせていただきませす。ご都合のつく時間にお参りください。今年は密集を少しでも避けるため、14日の午後も受付をさせていただきます。なお、お抹茶の接待は休止させていただきますのでご了承ください。また、ご参詣の皆様にはマスク着用など感染予防にご協力をお願いいたします。



○秋のお彼岸・永代経法要を例年と同じく9月8日に勤める予定です。お斎(食事)を出すのが難しい状況ですので午前のみ法要とさせていただきます。お勤めの後、住職が少しお話をさせていただきますので、11時半頃の終了を予定しています。

○昨今、「墓じまい」ということが盛んに言われますが、お墓を持つことは、家族の「心のより所」を持つことでもあります。上宮寺八事墓地では利用者を募集していますので、お気軽にお問合せください。また、そのほかの仏事についてわからないことがありましたら、遠慮なくお寺にお尋ねください。

○夏本番です。新型コロナウイルスはもちろんのこと熱中症にも十分、気をつけてください。

【雑感】

もし新型コロナウイルスがなかったら、今頃、東京オリンピックの話で持ち切りだったでしょう。一年の延期にはなりませんが、世界の感染状況を見ると、果たして来年に開催できるのでしょうか。東京も準備をこらだけして中止ではやりきれないでしょう。素人の考えですが、「困った時はお互い様」ということで、2024年を東京にして、それ以降のパリ、ロサンゼルスも4年ずつずらしてもらえばいいと思うのですが…。ちょっと虫が良すぎるかな。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547